

きらり

おばま 人

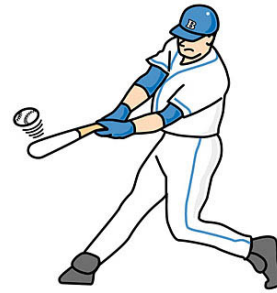


プロ野球観戦バスツアー 参加者募集

■問い合わせ 食のまちづくり課 ☎53・1000

御食国大使からプロ野球観戦（オリックス・バファローズ×ソフトバンクホークス戦）の招待状が届きました。ドーム内の野球観戦レストランで昼食付きの観戦です。たくさんの応募をお待ちしています。

- と き 7月3日⑩ 8時30分 市役所出発（試合開始13時）
- ところ 京セラドーム大阪（大阪市）
- 募集人数 38人（ペア19組） ※応募者多数の場合は抽選
- 対象 小浜市民（高校生以下の場合は保護者とペアで）
- 参加費 無料
- 応募方法 ペアで申し込み（応募は1人1回限り）
往復はがきに2人の住所、氏名、年齢、連絡先を記入
（返信用には代表者の住所、氏名を記入）
- 応募期限 6月15日⑩必着
- 応募先 〒917-0081 小浜市川崎三丁目4番
食文化館 食のまちづくり課 野球観戦ツアー係



『福田 剛史さん（31歳・伏原）』

勝山市の要請を受け、四月二十四日から八日間、介護ボランティアとして、岩手県陸前高田市に赴いた介護福祉士の福田剛史さん。陸前高田市は、津波で市内のほとんどが水没し、壊滅的な被害を受けました。

「多くの介護施設が被災していることをテレビで知り、介護職員として、何か手助けがしたいと思いました」と、介護ボランティア参加に至る経緯を話します。

福田さんが派遣されたのは、『生出炭の家託老所』という福祉避難所。「三、四人で班を組んで、二十人の

きずな 人の絆（＝つながり）が大切だと感じました！

お年寄りを介護したんですが、わたしを含めた介護ボランティア十五人のうち、半数以上に介護経験がなく、スムーズに介護を行うのが大変でした」と現地での苦労について語ります。

「孫が津波で流されたんです」と涙ながらに話すお年寄りもいました。何と答えていいのかわからず、話している本当に伝わったのです。それでも、多くのおじいちゃん、おばあちゃんから『ありがとう』と声をかけてもらい、何とか頑張ることができました」とその経験を話します。

「現地での活動を通して、人の絆（＝つながり）というものを強く感じました。人と人が助け合って、初めて人は生きていけるのだと思います。最初は自分に支援なんかできるんだろうかと不安でいっぱいでしたが、介護職で培った知識と経験を生かし、少しは役に立てたと思います。今後は、この貴重な経験を多くの人に伝え、もっと災害ボランティアに興味を持ってくれる人が増えればうれしいです」

ゴールデンウイークを境に激減したという災害ボランティア。今後、福田さんのような人が増え、『被災地支援の輪』が全国各地に広がることを願います。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。
市民協働課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

山柳

若狭湾川柳舎

曾孫を抱く卒寿の腕にある自信 北長町 濱坂 昌子
生き下手で世に憚って残り火よ 千種二丁目 安藤ふみ枝
気力十分なのに体力そっぽむく 小浜酒井 清水 久子

短歌

音無川短歌会

若葉なか真白き柿の花咲ける 小径に初夏の影をうつして 竜前 辻 彌生
与謝町の未だ残雪ある谷間 密かに咲きたる紫椿 多田 山田 弘子
田耕しのトラクターの舵しかと 持つ農夫の背に春の陽穏し 遠敷 中村志津子

俳句

小浜市俳句作家協会

夜釣人出船待つ間の竿手入れ 東山手団地 井上ひさの
黒揚羽不意にとびくる狭庭かな 水取三丁目 津田 菊野
夏シャツを被りて草に眠りこけ 小松原 森田 昇

広告

広告

広告

広告

広告

広告